

学校関係者評価委員 (敬称略)		
委員長	千々和隆生	学校法人能美学園 星琳高等学校 参与
副委員長	安部和則	北九州理容連盟 会長
委員	松永裕己	北九州市立大学 マネジメント研究科 教授・研究科長
委員	町田そのこ	北九州市立高等理容美容学校 卒業生

<p>評定の意味</p> <p>4：適切に対応している。課題の発見に積極的で、今後さらに向上させるための意欲がある。</p> <p>3：ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。</p> <p>2：対応が十分ではなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。</p> <p>1：全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。</p>

基準1. 教育理念・目標・育成人材像				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.8	千々和隆生	4	・メンタルヘルスはストレスへの対処と生産的な労働に欠くことができない条件であると考えます。心身ともに健康であることは、将来の自分自身について、目標を持つことになるので今後もけいぞくして取り組んでほしい。	4.0
	安部和則	3	特に無し	
	松永裕己	4	・特色を持った理念が設定されている。 ・小項目すべてにおいて具体的な取組みがなされている。 ・1-1-4で求められるのは、学校として（学校運営者）としての構想であって、学生に考えさせるものではないのではないか？学生に学校の将来構想を考えさせ、それを学校運営に反映させるというのであれば、良いことだとは思いますが。そのあたりが資料からは読み取れなかった。	
	町田そのこ	4	心のすこやかさ、豊かな知識は接客に表れるものだと思う。 体と心の健康を大切にしてほしい。	

基準2. 学校運営

平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.5	千々和隆生	4	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンダードブックを配布し、全職員に法人の理念や将来構想について共通理解を図ることが、共通実践につながると考えます。 ・適切な人事考課を行うために必要な個々の職員の課題が明確になると思います。 	4.0
	安部和則	3	特に無し	
	松永裕己	3	<ul style="list-style-type: none"> ・理念の共有は非常に重要なので、2-2-1にあるスタンダードブックの配布は評価できる。理念が教職員にどの程度浸透しているのか、理念を具体的にどのように活用しているか知りたい。 ・2-5の採用や昇任に関する規則や内規、申し合わせなど客観的な基準はあるか？ ・2-6-1について、中項目総括にもあるが、意思決定のしくみや権限に関する規定はないのか？ないとすれば整備すべきである。 	
	町田そのこ	4	教員にとっても、働きやすく、生徒に指導しやすい環境づくりを続けて頂きたい。	

基準 3. 教育活動				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.0	千々和隆生	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学生個々の習熟度の差をなくすことは、容易なことではないと思います。特に技術の習得は座学のようにはいかないので、教える側の工夫も必要になります。個に応じた指導を行うためには、個に応じた言葉（アドバイス）の能力を高める必要もあると考えます。 ・卒業生との交流は、学生の意欲につながるもので、今後も続けてほしい。 ・学生アンケートの実施は、教員の指導改善に役立つので継続してほしい。 	3.4
	安部和則	3	特に無し	
	松永裕己	3	<ul style="list-style-type: none"> ・3-9-4の「授業評価」は学生による授業の評価が求められているのでは？授業アンケートなどは実施しているのか？実施しているとすればどのように活用しているのか？ 	
	町田そのこ	3	何が得意か、何が苦手か、何を理解していないかを生徒と教員の間で共有しながら習熟度を上げていくなど対策方法を増やす。	

基準 4. 学修成果				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.0	千々和隆生	3	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、国家試験合格が学校評価のもとになると思いますが、現場に適應できる多様な資格取得の場が提供されていることは評価できると思います。 ・本市の多様な企画に参画できる場が増えると、更に良いと思います。 	3.3
	安部和則	3	特に無し	
	松永裕己	3	<ul style="list-style-type: none"> ・4-13-1 就職率の推移は具体的にどうなっているのか？ ・4-13-1 就職率とシラバスがどのように関連しているのか、わかりづらい。 	
	町田そのこ	3	国家試験合格率を100%に近づけられるよう今後も指導を続けて頂きたい。	

基準 5. 学生支援				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.0	千々和隆生	3	<ul style="list-style-type: none"> ・退学は、学生の進路選択にとって重要であるとともに、学校経営にとって直接的な影響が出るので、様々なサポートを行う必要があると思います。その1つとして、カウンセリングを通して個々の学生のサインを見落とさない、職員間の情報共有が重要です。 ・また、前兆がなく、突然退学するケースもあるので、職員間の情報交換が必要です。 	3.3
	安部和則	3	特に無し	
	松永裕己	3	<ul style="list-style-type: none"> ・5-17 中途退学率の推移はどうなっているのか？ ・5-18 学生からの相談などで必要な場合カウンセラーなどの専門職に繋ぐしくみはあるか？ 	
	町田そのこ	3	コミュニケーションを密にし、卒業まで生徒が技術習得に専念できる環境づくりをして頂きたい。	

基準 6. 教育環境				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.8	千々和隆生	4	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の改善には予算が伴うが、計画的に更新することが望ましい。 ・安全管理は校内活動のみならず、校外での学習活動においても万全を期して対応する必要がある。 	3.8
	安部和則	3	特に無し	
	松永裕己	4	－	
	町田そのこ	4	卒業後、現場に入ったときにスムーズに作業ができるよう、現場のスタンダードな設備を校内でも備えてほしい。	

基準 7. 学生の募集と受入れ				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.5	千々和隆生	3	・卒業後の様子が分かる冊子の作成と、高校への配布・説明は、入学者数を増やす一助となると考えます。	3.7
	安部和則	3	特に無し	
	松永裕己	4	・適切な運営がなされていると思われる。	
	町田そのこ	4	オープンキャンパスなどで認知される機会を増やして頂きたい。気軽に来れる雰囲気であってほしい。	

基準 8. 財 務				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.5	千々和隆生	4	・入学生の造化と退学者の減少に、今後も取り組んでほしい。	4.0
	安部和則	3	特に無し	
	松永裕己	3	・Webで収支計算書などがきちんと公開されている点は評価できるが、書式に一部齟齬があるのではないか？	
	町田そのこ	4	引き続き維持して頂きたい。	

基準 9. 法令の遵守				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.8	千々和隆生	4	・コンプライアンスとガバナンスに万全の体制を構築するとともに、全職員の意識統一を図るよう取り組んでほしい。	4.0
	安部和則	3	特に無し	
	松永裕己	4	・自己評価報告書の公開など適切に実施されている。 ・個人情報保護方針をWebで公開するなど適切に実施管理されていると思われる。	
	町田そのこ	4	引き続き維持して頂きたい。	

基準10. 社会貢献・地域貢献				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.0	千々和隆生	3	・教育活動を通して負担のない地域貢献に取り組んでほしい。	3.0
	安部和則	3	特に無し	
	松永裕己	3	・どのような貢献活動をどの程度行うかについて、目標や計画は存在するか？	
	町田そのこ	3	地域で何ができるのかは分からないが、交流する機会を設けるべきだと思う	

総括				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.3	千々和隆生	4	各課題に対して時間をかけて、継続的に取り組むことを望みます。	3.7
	安部和則	3	職員の質の向上を希望します。 特に教員	
	松永裕己	3	・全般的には適切に運営されていると思われる。 ・一部、具体的な取り組みに「～する」ということが書かれているが、何を行ったかを記載すべきである。 ・全体的に、より具体的に「いつ、何をしたのか」を記載した方が改善活動に繋がりがやすいのではないか（別に資料があれば問題ないが）。	
	町田そのこ	3	卒業後、現場で即戦力となるような技術者をどう育成していくか、方法をブラッシュアップし、続けていくことが大切だと思う。	